２０２６（令和８）年度

大学院学生募集要項

商学研究科　ビジネス専攻

修 士 課 程

博士後期課程

北 海 商 科 大 学

目　　次

【修士課程】

北海商科大学大学院商学研究科の教育における３つの方針（ポリシー）【修士課程】…… 2

○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
○教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者選抜方法について【修士課程】…… 3

●入　試　要　項

○募集人員／出願資格／事前相談期間 …… 4
○出願期間／出願書類／入学検定料 …… 5
○出願場所・方法・注意事項／選抜方法／試験日・試験会場／試験科目・時間 …… 6
○合格発表／入学手続／学費 …… 7

●授業科目等一覧 …… 8

●課題研究演習Ⅰ・Ⅱ及び特別研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　指導担当者一覧 …… 9

【博士後期課程】

北海商科大学大学院商学研究科の教育における３つの方針（ポリシー）【博士後期課程】…… 12

○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
○教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者選抜方法について【博士後期課程】…… 13

●入　試　要　項

○募集人員／出願資格／事前相談期間／出願期間 …… 14
○出願書類／入学検定料／出願場所・方法・注意事項／選抜方法 …… 15
○試験日・試験会場／試験科目・時間／合格発表／入学手続 …… 16
○学費 …… 17

●授業科目等一覧 …… 18

●研究指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　指導担当者一覧 …… 19

出 願 書 類

○願書等提出書類一覧／個人情報の取扱いについて …… 22
○入学検定料振込用紙 …… 23
○入学願書／志望理由書／研究計画書／受験票／受験上の注意 …… 25

修　士　課　程

北海商科大学大学院商学研究科の教育における
3つの方針（ポリシー）【修士課程】

●卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

社会人を含めた知的探究心のある人々に広く門戸を開き、時代の要請に応え、高度な専門的知識・能力を備えた職業人あるいは学術的研鑽を積み､その実践化を図る研究者を育成する。さらにリカレント教育等により、新たな企画力とコミュニケーション能力を磨き、時代に適応した組織を構築（再編）し、地域社会に貢献する人材を育成する。

◎新たな経営戦略を具体的に企画できる人材

グローバル化の進展さらに東アジア地域の経済的台頭という新しい時代及び状況に対応しうる企業理念の構築や未来に向けた組織づくりのため、コミュニケーション能力、コマース及びビジネスに関する専門的知識・能力を大いに発揮し、新たな経営戦略を具体的に企画できる人材

◎観光及びコマースに関するプロフェッショナルな人材

「アジアの時代」に十分に対応しうる企画力を有し、実践的なコミュニケーション能力を身につけた観光及びコマースに関するプロフェッショナルな人材

◎実践化を可能とする研究者

学際的領域を常に視野に置き、コマースとビジネス及び観光に関する学理を修得し、その実践化を可能とする研究者

●教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学大学院商学研究科では、東アジア地域との観光サービスや商取引を視野に据えて高度専門的な知識や能力の育成を目指すことを教育の方針としながら､「卓越した能力を有する人材を養成し、地域社会への貢献を果たす」､「北海道という地域の求める社会的、経済的要請に応える」､「人材や販路、提携相手などを広く東アジア地域に求めていく」という３つの教育目的を持っている。

カリキュラムでは､「北東アジアコミュニケーション関連科目」､「東アジア関連科目」､「商学関連科目」､「観光産業関連科目」､「課題研究関連科目」の５つの科目群を編成している。

【５つの科目群】

①「北東アジアコミュニケーション関連科目」

本研究科では、社会人のリカレント・リフレッシュ教育に貢献することを目的の一つに揚げており、さらに他大学出身者も積極的に受け入れることを考慮し、本研究科が対象とする学問的領域の基礎を修得し、その応用と実践にステップアップを図るため、北東アジアに関する語学、社会文化、経済を包括する選択科目を配置している。本学が協定を締結している海外の大学及び研究機関等からの留学生の受入を考慮し、日本及び東アジアに関する講義をも配置する。

②「東アジア関連科目」

北海道は東アジア特に中国・韓国・台湾・香港という近隣諸国・諸地域との経済交流及び観光事業に大きく関与している。こうした国及び地域の現状を分析し、今後の方向性を見据える必要性があり、各専門科目群の講義と相互に関連させながら、たえず東アジアにおける問題を考慮しつつ教育研究を遂行できるような研究教育体制とする。

③「商学関連科目」、④「観光産業関連科目」

大学院においてさらにコマース及びビジネスの要素を導入した教育・研究を実施し、商業及び観光業のマネジメント、政策企画、コミュニケーション等の各側面から専門的・総合的かつ実践的な能力を育成する。

⑤「課題研究関連科目」

この科目は、２年間を通して一貫した演習形式による授業体制をとるものであり、文献や現地調査を通じて専門分野における基礎的な研究能力の養成と研究意識を涵養するとともに、２年次には、研究成果に関する修士論文を作成するための正・副指導教授による個別研究指導を行う。

●入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

グローバル時代を見据え、北海道という地域に根を下ろし、東アジアとの関係に強い関心を抱き、コマース（流通・観光サービス分野）及びビジネス（経営分野）に関する専門知識を向上させるようとする意欲的な人、また、社会での実務経験を重ね、東アジアのコマースビジネスや観光サービスに関連した問題に特別に関心がある人、さらに東アジアとの種々の交流に個別的関心を有していて、それを統合的な知的基盤に向上させようと意欲する人、これらの人を本研究科は求める。

入学者選抜方法について【修士課程】

●一般入学試験

筆記試験２科目、口述試験により選抜を行います。

筆記試験：外国語（英語・中国語・韓国語・日本語から母語以外の外国語を選択）、専門科目（共通専門科目と指導希望教授担当科目）。

口述試験：主として研究計画等についての面接。

●社会人特例入学試験

社会人特例等（大学を卒業後数年経ており、職業等に従事しているため昼間に大学院に通学できない条件を有する者）の入学試験を受けようとする者は、志望理由書、研究計画書を提出したうえで、筆記試験として専門科目（共通専門科目と指導希望教授担当科目）、及び口述試験（主として志望理由及び研究計画等についての口頭試問）による評価と判定により選抜を行います。

●外国人留学生特別選抜（協定校推薦）試験

原則として、本学が協定を締結している大学あるいは研究機関（交流協定校・研究機関）から推薦された留学生を対象とした入学者選抜です。この外国人留学生特別選抜（協定校推薦）試験は、交流協定校・研究機関との交流協定に則って実施されるため、本研究科における入学試験を行わず、交流協定校・研究機関の選抜試験により選抜されます。選抜された学生に対しては、必要に応じて本学研究科担当教員による面談を実施し、論文及び研究計画書による口述試験を行う場合があります。

入 試 要 項

1．募 集 人 員

研 究 科	修 士 課 程	定 員
商 学 研 究 科	ビ ジ ネ ス 専 攻	＊5名

＊社会人特例受験並びに協定校推薦学生を含む

2．出 願 資 格

[一般受験]

⑴ 大学を卒業した者及び2026年３月卒業見込みの者
⑵ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者(注１)
⑶ 文部科学大臣の指定した者
⑷ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすもの）を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者
⑸ その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(注２)

[社会人特例受験]

2026年４月において定まった職業（正社員）を有する者（自営業従事者を含む）又は定年退職者・家事従事者・その他豊富な社会経験を有する者(注２)で、下記の⑴～⑸のいずれかに該当する者

⑴ 大学を卒業した者及び2026年３月卒業見込みの者
⑵ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者(注１)
⑶ 文部科学大臣の指定した者
⑷ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすもの）を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者
⑸ その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(注２)

（注１）ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が初等教育から通算して16年に満たない国において大学教育を修了した者は、日本国内または国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関の研究生、研究員等として相当期間（１年以上）研究に従事した場合には、在籍した期間が加算され、入学資格の要件を満たすことになる
（注２）出願時において、通学圏（札幌圏）外に居住している者は、専門研究に必要な予習時間の確保等を考えた場合、入学後は通学圏（札幌圏）に転居することが望ましい。

3．事前相談期間

	受 付 開 始 日	受 付 締 切 日
第１期募集（一般受験・社会人特例受験）	2025年12月１日(月)	2025年12月18日(木)

研究計画書の作成並びに筆記試験専門科目（指導希望教授担当科目）決定のため、出願する前に事前指導を行う。事前相談期間に窓口（事務室　問い合せ先　TEL011-841-1161㈹内線8115）に申し出ること。

窓口受付時間　平日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時30分は除く）
　　土曜　午前９時から午後０時40分まで

4．出　願　期　間

	受　付　開　始　日	受　付　締　切　日
第１期募集（一般受験・社会人特例受験）	2026年１月15日(木)	2026年１月30日(金)

窓口受付時間　平日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時30分は除く）
　　土曜　午前９時から午後０時40分まで
＊郵送出願の場合は、「書留」とし、受付締切日まで到着するよう郵送すること。

5．出　願　書　類

[一般受験]

出願者は、次の書類を一括し、次項６の要領で入学検定料を振り込みの上提出すること。

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）
⑵　受　験　票（本学所定の用紙）
⑶　研究計画書（本学所定の用紙）
⑷　卒業証明書または卒業見込証明書
⑸　最終出身学校の成績証明書
⑹　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦４cm×横３cm）
⑺　受験票送付用封筒（速達料を含めた分の切手を貼付したもの）

※　出願手続について以下の事項に注意すること。

㈠　入学願書の「演習指導希望教授名」欄には入学後の指導教授の第１、第２希望者名を記入すること。
　なお、研究計画書の作成並びに筆記試験専門科目（指導希望教授担当科目）の決定にあたっては、事前指導を行う。最終的に、入学後の指導教授については、入学時に指導体制を勘案し、調整して決定する。指導教授については、必ずしも希望した教員になるとは限らない。

㈡　入学願書の「志望理由」は、具体的に記入すること。

㈢　入学後の指導教員については入学時に指導体制を勘案の上、調整して決定するが、出願前に指導を希望する教員に会い、語学能力などについて相談しておくこと。

[社会人特例受験]

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）
⑵　受　験　票（本学所定の用紙）
⑶　志望理由書（本学所定の用紙）
⑷　研究計画書（本学所定の用紙）
⑸　卒業証明書または卒業見込証明書
⑹　最終出身学校の成績証明書
⑺　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦４cm×横３cm）
⑻　受験票送付用封筒（速達料を含めた分の切手を貼付したもの）

※　出願手続について以下の事項に注意すること。

㈠　入学願書の「演習指導希望教授名」欄には入学後の指導教授の第１、第２希望者名を記入すること。
　なお、研究計画書の作成並びに筆記試験専門科目（指導希望教授担当科目）の決定にあたっては、事前指導を行う。最終的に、入学後の指導教授については、入学時に指導体制を勘案し、調整して決定する。指導教授については、必ずしも希望した教員になるとは限らない。

㈡　志望理由書は、具体的に記入すること。

㈢　家事従事者の出願資格により出願する場合には、証明する書類の提出を求める場合がある。

㈣　入学後の指導教員については入学時に指導体制を勘案の上、調整して決定するが、出願前に指導を希望する教員に会い、語学能力などについて相談しておくこと。

6．入 学 検 定 料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要事項を記入し、切り離して最寄りの銀行に「文書扱い」で振り込むこと。（指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料となるが、他の金融機関から振込みの場合、振込手数料が有料となるので、各窓口で確認すること。）

＊　入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印（取扱銀行出納印）①～④がすべて押印されているか確認すること。

7．出願場所・方法・注意事項

「５．出願書類」を出願期間内に郵送または窓口まで提出すること。
北海商科大学事務室　〒062-8607　札幌市豊平区豊平６条６丁目10番　☎011-841-1161㈹（内線8115）
なお、一度提出した書類や既納の入学検定料は、理由の如何を問わず返還しないので注意すること。

8．選　抜　方　法

⑴　選考は筆記試験・口述試験・研究計画書（社会人の場合は、志望理由書）等による。
⑵　試験の結果によっては、募集人員に達しない場合であっても入学を許可しないことがある。

9．試験日・試験会場

	第　1　期
試　　験　　日	2026年２月28日（土）
試　験　会　場	北海商科大学

＊自家用車による来校は固く禁ずる。公共交通機関を利用すること。

10．試験科目・時間

［一般受験］

科　目　（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 外 国 語（100点）	9：30～11：00	英語・中国語・韓国語・日本語の中から１か国語を選択（注１） （ただし母語以外の外国語を選択）
筆記試験 専門科目（各100点）	11：10～12：40	１．共通専門科目（商学・観光産業に関する出題） ２．指導希望教授担当科目（注２）
口述試験　（100点）	13：30～	研究計画等を中心に面接

（注１）筆記試験　外国語については、辞書１冊（電子辞書を含む＊）の持ち込みを許可する。
＊辞書機能のみを有する電子辞書の持ち込みを許可とするが、通信機能を持つ電子辞書類の持ち込みは許可しない。
（注２）事前指導により決定する（５．出願書類の※㈠を参照のこと）。

［社会人特例受験］

科　目　（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 専門科目（各100点）	11：10～12：40	１．共通専門科目（商学・観光産業に関する出題） ２．指導希望教授担当科目（注１）
口述試験　（100点）	13：30～	志望理由及び研究計画等を中心に面接

（注１）事前指導により決定する（５．出願書類の※㈠を参照のこと）。

11. 合　格　発　表

第 1 期　2026年 3 月 5 日(木)　午前10時

合格者は、北海商科大学掲示板に掲示する。また、合格者には合格通知書および入学手続書類を郵送する。不合格者には、試験結果通知書を郵送する。(電話での問い合わせには応じない。)

12. 入　学　手　続

合格者は、所定の期日までに以下の入学手続きを郵送等により完了すること。期限内に手続きを完了しない者は、入学を辞退したものとみなされるので注意すること。

第 1 期　2026年 3 月17日(火)　午後 4 時まで

合格者は期日までに次の書類に学費を添えて手続きを完了のこと。

⑴　事　項　届(本学所定の用紙)
⑵　学生カード(本学所定の用紙)
⑶　卒業証明書(卒業見込みで受験した者のみ)
⑷　成績証明書(卒業見込みで受験した者のみ)
⑸　写 真 3 枚(最近 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦 4 cm×横 3 cm)
⑹　在留カードの写し(両面、外国人合格者のみ)
⑺　パスポートの写し(顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分、外国人合格者のみ)
⑻　預金残高証明書及び預金通帳写し等の入出金の経緯が明らかになるもの(外国人合格者のみ)

13. 学　　費

[一般受験]

(単位；円)

納入時 ＼ 納入金		入 学 金	授 業 料	教育充実費	同窓会入会金	同窓会費	合　計
1年	第1期(入学手続時)	200,000	436,000	50,000	5,000	10,000	701,000
	第2期(9月30日)	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	200,000	872,000	100,000	5,000	10,000	1,187,000
2年	第1期(4月20日)	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第2期(9月30日)	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。
＊　北海学園設置の北海商科大学・北海商科大学大学院又は北海学園大学・北海学園大学大学院を卒業後に北海商科大学大学院へ入学するときは、入学金を免除する。ただし、以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

[社会人特例受験]

(単位；円)

納入時 ＼ 納入金		入 学 金	授 業 料	教育充実費	同窓会入会金	同窓会費	合　計
1年	第1期(入学手続時)	100,000	218,000	30,000	5,000	10,000	363,000
	第2期(9月30日)	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	100,000	436,000	50,000	5,000	10,000	601,000
2年	第1期(4月20日)	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第2期(9月30日)	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。
＊　北海学園設置の北海商科大学・北海商科大学大学院又は北海学園大学・北海学園大学大学院を卒業後に北海商科大学大学院へ入学するときは、入学金を免除する。ただし、以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

授業科目等一覧

［修　士　課　程］　　（2025年４月１日現在）

授　業　科　目　名		配当年次	単 位 数
１．北東アジアコミュニケーション関連科目			
	アジア語学特殊講義（中国語）	１前／後	各２単位
	アジア語学特殊講義（韓国語）	１前／後	各２単位
	中国文化論特殊講義	１前／後	各２単位
	韓国文化論特殊講義	１前／後	各２単位
	日本経済論特殊講義	１前／後	各２単位
２．東アジア関連科目			
	東アジア経済論特殊講義	１前	２単位
	東アジア市場論特殊講義	１後	２単位
	東アジア地域振興論特殊講義	１前	２単位
	東アジアビジネス論特殊講義	１前	２単位
	アメリカビジネス特殊講義	１前	２単位
３．商学関連科目			
	商業政策論特殊講義	１前	２単位
	物流システム論特殊講義	１後	２単位
	経営分析論特殊講義	１前	２単位
	流通戦略論特殊講義	１後	２単位
	国際金融システム論特殊講義	１後	２単位
	マーケティング特殊講義	１後	２単位
	税務会計論特殊講義	１前	２単位
	管理会計論特殊講義	１後	２単位
	経営管理論特殊講義	１前	２単位
４．観光産業関連科目			
	観光産業論特殊講義	１前	２単位
	観光振興論特殊講義	１後	２単位
	観光情報システム論特殊講義	１前	２単位
	観光調査論特殊講義	１前	２単位
	観光環境論特殊講義	１後	２単位
	地域開発環境論特殊講義	１後	２単位
	地域開発システム論特殊講義	１後	２単位
５．課題研究関連科目（演習科目）			
	課題研究演習Ⅰ	１前	２単位
	課題研究演習Ⅱ	１後	２単位
	特別研究指導演習Ⅰ	２前	２単位
	特別研究指導演習Ⅱ	２後	２単位
	特別研究指導演習Ⅲ	２後	２単位
６．特別講義科目			
	特別講義	１前	２単位

※「前／後」表示科目は、いずれか１科目のみ修得可能

［修士課程］
課題研究演習Ⅰ・Ⅱ及び特別研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
指導担当者一覧

■東アジア関連科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	伊　藤　昭　男	日本および中国における地域経済の自立に関する研究	東アジア地域振興論特殊講義
准教授	澤　内　大　輔	サプライチェーンリスク管理を応用した食料安全保障の評価手法開発	日本経済論特殊講義 東アジア経済論特殊講義
准教授	舛　田　佳　弘	アジアの経済発展における政府の機能に関する研究。移行経済に対する経路依存的・進化的アプローチからの研究	東アジアビジネス論特殊講義

■商学関連科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	橋　元　理　恵	企業の成長と衰退のプロセスに関する研究、マーケティング視点の観光・地域活性化に関する研究	経営分析論特殊講義 管理会計論特殊講義
教授	相　浦　宣　徳	地域物流に関する研究	流通戦略論特殊講義

■観光産業関連科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	伊　藤　寛　幸	観光と環境と地域計画	観光産業論特殊講義
教授	山　田　勅　之	中国少数民族地域の観光動態、文化遺産を用いた観光振興	観光振興論特殊講義
教授	池ノ上　真　一	地域の持続可能性のための地域マネジメントに関する研究。将来の都市・地域のあるべき姿を問う都市論や地域論。交流による地域形成の構造を解き明かす海の道研究等。	観光環境論特殊講義
教授	佐　藤　博　樹	環境質の維持・向上と経済性に配慮した地域開発事業のあり方について、主に環境経済学の観点から検討する	地域開発環境論特殊講義
教授	三田村　　保	知能情報学による北海道地域観光に関する研究	観光情報システム論特殊講義 観光調査論特殊講義

■特別講義担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	佐　藤　千　歳	現代中国研究。現代中国で活動空間を拡大するNPOや宗教団体など「中間団体」の社会的役割について、質的調査の手法を用いて研究している。	特別講義

※　研究テーマは、2025年４月現在の内容。
※　大学院要覧も併せて参照することが望ましい。

博士後期課程

北海商科大学大学院商学研究科の教育における
3つの方針（ポリシー）【博士後期課程】

●卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

主として知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養ある人材の養成を目指し、創造性豊かな研究開発能力を持つ研究者（大学教員を含む）等を養成する。こうした人材養成は、高度に専門的な知識を有する研究者としての人材であるだけではなく、そうした人材養成が、地域（北海道）社会のグローバル化の進展に対応できる実践的能力を備えたものでなければならない。したがって、本博士後期課程では、次の３点に示すような人材の養成を具体的に考えている。

◎国際社会と連携し、国際的視野に立つ人材養成
◎北海道及び地域社会のニーズと結合した人材養成
◎グローバル化社会における北海道及び地域社会へ貢献する人材養成

●教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学の博士後期課程の教育課程編成の基本方針は、その教育目的に照らし、グローバル化の進展とともに多様化する国際的経済情勢を適確に把握し、そうしたなかで東アジアを舞台とするビジネス・コマース及び観光産業関連の専門的研究についての分析力・構想力・開発力を涵養する。これに加えて本学の博士後期課程での教育課程の編成における基本方針として、地域社会の振興に結びつくような実践的意義を有するコマース及びビジネス展開を展望しうる教育研究体制を構築する。このため、本学の博士後期課程では、次のような教育編成課程の基本方針の下にカリキュラム編成を行う。

◎研究会方式のグループ指導や個々の領域に関連する分野の学生の研究テーマに応じた特殊研究を展開する。
◎本学交流協定校・研究機関との共同プロジェクトの展開を推進するだけでなく、本学の博士後期課程の学生には一定期間の海外研修を課すとともに、教育上の交流プログラムを展開し、国際的にも高度な専門的知識・能力を取得させる。
◎「地域振興プロジェクト型教育研究」の一環として積極的に本研究活動に参加させ、教育課程を充実させる。

●入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学商学研究科ビジネス専攻博士後期課程においては、グローバルな社会問題や社会に貢献できる高度な開発・研究能力を備えた人材養成を目指すことから、入学者選抜についても、研究指導との関連を重視して、次のような学生を求める。

⑴　自立した研究を行うために必要な基礎的知識と論理的思考力を有する者。外国を対象として研究を進めようとする者には、外国語運用能力（コミュニケーション力）の一定水準を要求する。
⑵　自らの研究課題を探求する熱意とともに、そこから得られた知見を理論化していくことに強い関心を持つ者。
⑶　東アジア地域の研究分野において独創的な研究を遂行する意欲を持ち、その研究を生かした研究者を目指そうとする者。
⑷　すでに専門職・研究職に従事、もしくは従事した経験があり、さらに高度な課題探求能力と理論化能力の向上を目指す者。

入学者選抜方法について【博士後期課程】

●一般入学試験

筆記試験２科目、口述試験、書類審査により選抜を行います。
筆記試験：外国語（英語・中国語・韓国語・日本語から母語以外の外国語を選択）、専門科目（共通専門科目と指導希望教授担当科目）。
口述試験：主として研究計画等についての面接（修士論文の審査を含む）。

●社会人特例入学試験

筆記試験として外国語（英語・中国語・韓国語・日本語から母語以外の外国語を選択）と、専門科目（共通専門科目と指導希望教授担当科目）、口述試験並びに修士論文及び研究計画書に関する書類審査により評価と判定により選抜を行います。その際、社会人の特殊性を考慮し、一般学生とは異なる基準（志望理由書に関する口頭試問に重点を置き、問題関心の高さ、勉学意欲の強さ等を特に勘案。）により判定を行います。

●外国人留学生特別選抜（協定校推薦）試験

原則として、本学が協定を締結している大学あるいは研究機関（交流協定校・研究機関）から推薦された留学生を対象とした入学者選抜です。この外国人留学生特別選抜（協定校推薦）試験は、交流協定校・研究機関との交流協定に則って実施するため、本研究科における入学試験を行わず、交流協定校・研究機関の選抜試験により選抜されます。選抜された学生に対しては、必要に応じて本学研究科担当教員による面談を実施し、論文及び研究計画書による口述試験を行う場合があります。

●外国人留学生特別選抜（専任教員推薦）試験

原則として、日本国内外の大学院修士課程を修了し、多様な研究実績を持つ留学生を対象とした入学者選抜です。この外国人留学生特別選抜（専任教員推薦）試験は、これまでの研究実績に基づく書類審査を実施するため、本研究科における入学試験を行わず、本学専任教員の推挙に基づき選抜されます。

なお、必要に応じて本学研究科担当教員による面談を実施し、論文及び研究計画書による口述試験を行う場合があります。

入 試 要 項

1．募 集 人 員

研 究 科	博 士 後 期 課 程	定 員
商 学 研 究 科	ビ ジ ネ ス 専 攻	*2名

＊社会人特例受験並びに協定校推薦、専任教員推薦による受験を含む

2．出 願 資 格

[一般受験]

⑴ 修士の学位を有する者及び2026年３月取得見込みの者
⑵ 外国の大学において、前号と同等又は同等以上の学力を有する者
⑶ 文部科学大臣の指定した者
⑷ その他本大学院において、個別の出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（注）

[社会人特例受験]

2026年４月において定まった職業（正社員）を有する者（自営業従事者を含む）又は定年退職者・家事従事者・その他豊富な社会経験を有する者注で、下記の⑴～⑷のいずれかに該当する者

⑴ 修士の学位を有する者及び2026年３月取得見込みの者
⑵ 外国の大学において、前号と同等又は同等以上の学力を有する者
⑶ 文部科学大臣の指定した者
⑷ その他本大学院において、個別の出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（注）

（注）出願時において、通学圏（札幌圏）外に居住している者は、専門研究に必要な予習時間の確保を考えた場合、入学後は通学圏（札幌圏）に転居することが望ましい。

3．事前相談期間

	受 付 開 始 日	受 付 締 切 日
第１期募集（一般受験・社会人特例受験）	2025年12月１日(月)	2025年12月18日(木)

研究計画書の作成並びに筆記試験専門科目（指導希望教授担当科目）決定のため、出願する前に事前指導を行う。事前相談期間に窓口（事務室　問い合せ先　TEL011-841-1161㈹内線8115）に申し出ること。

窓口受付時間　平日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時30分は除く）
　　土曜　午前９時から午後０時40分まで

4．出 願 期 間

	受 付 開 始 日	受 付 締 切 日
第１期募集（一般受験・社会人特例受験）	2026年１月15日(木)	2026年１月30日(金)

窓口受付時間　平日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時40分は除く）
　　土曜　午前９時から午後０時40分まで

＊郵送出願の場合は、「書留」とし、受付締切日まで到着するよう郵送すること。

5．出　願　書　類

出願者は、次の書類を一括し、次項５の要領で入学検定料を振り込みの上提出すること。

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）

⑵　受　験　票（本学所定の用紙）

⑶　志望理由書（本学所定の用紙。ただし、一般受験者は除く。）

⑷　研究計画書（本学所定の用紙）

⑸　修士論文の写し（審査のため提出中のものを含む）あるいはこれに代わる公表された論文

⑹　提出した論文の要旨（4000字以内）

⑺　修了証明書または修了見込証明書

⑻　最終出身学校の成績証明書

⑼　写 真 2 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦４cm×横３cm）

⑽　受験票送付用封筒（速達料を含めた分の切手を貼付したもの）

※　出願手続について以下の事項に注意すること。

㈠　入学願書の「演習指導希望教授名」欄には入学後の指導教授の第１、第２希望者名を記入すること。なお、研究計画書の作成並びに筆記試験専門科目（指導希望教授担当科目）の決定にあたっては、事前指導を行う。最終的に、入学後の指導教授については、入学時に指導体制を勘案し、調整して決定する。

㈡　志望理由書は、具体的に記入すること。

㈢　家事従事者の出願資格により出願する場合には、証明する書類の提出を求める場合がある。

㈣　受験者は、出願前に、指導を受けることを希望する教員に会い、研究計画書や語学能力について相談しておくこと。

6．入 学 検 定 料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要事項を記入し、切り離して最寄りの銀行に「文書扱い」で振り込むこと。（指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料となるが、他の金融機関から振込みの場合、振込手数料が有料となるので、各窓口で確認すること。）

＊　入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印（取扱銀行出納印）①～④がすべて押印されているか確認すること。

7．出願場所・方法・注意事項

「５．出願書類」を出願期間内に郵送または窓口まで提出すること。

北海商科大学事務室　〒062-8607　札幌市豊平区豊平６条６丁目10番　☎011-841-1161㈹（内線8115）

なお、一度提出した書類や既納の入学検定料は、理由の如何を問わず返還しないので注意すること。

8．選　抜　方　法

⑴　選考は筆記試験・口述試験・研究計画書（社会人の場合は、志望理由書）等による。

⑵　試験の結果によっては、募集人員に達しない場合であっても入学を許可しないことがある。

9．試験日・試験会場

試　　験　　日	2026年２月28日（土）
試　験　会　場	北海商科大学

＊自家用車による来校は固く禁ずる。公共交通機関を利用すること。

10. 試験科目・時間

［一般受験・社会人特例受験（共通）］

科　目　（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 外 国 語（100点）	9：30～11：00	英語・中国語・韓国語・日本語の中から１ヶ国語を選択（注１） （ただし母語以外の外国語を選択）
筆記試験 専門科目（各100点）	11：10～12：40	１．共通専門科目（商学・観光産業に関する出題） ２．指導希望教授担当科目（注２）
口述試験　（100点）	13：30～	筆記試験・提出された論文・研究計画等を中心に面接

（注１）筆記試験　外国語については、辞書１冊（電子辞書を含む＊）の持ち込みを許可する。

＊辞書機能のみを有する電子辞書の持ち込みを許可とするが、通信機能を持つ電子辞書類の持ち込みは許可しない。

（注２）事前指導により決定する（４．出願書類の※㈠を参照のこと）。

11. 合　格　発　表

2026年３月５日（木）　午前10時

合格者は、北海商科大学掲示板に掲示する。また、合格者には合格通知書および入学手続書類を郵送する。不合格者には、試験結果通知書を郵送する。（電話での問い合わせには応じない。）

12. 入　学　手　続

2026年３月17日（火）　午後４時まで

合格者は、所定の期日までに以下の入学手続きを郵送等により完了すること。期限内に手続きを完了しない者は、入学を辞退したものとみなされるので注意すること。

合格者は期日までに次の書類に学費を添えて手続きを完了のこと。

⑴　事　項　届（本学所定の用紙）
⑵　学生カード（本学所定の用紙）
⑶　修了証明書（修了見込みで受験した者のみ）
⑷　成績証明書（修了見込みで受験した者のみ）
⑸　写 真 ３ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦４cm×横３cm）
⑹　在留カードの写し（両面、外国人合格者のみ）
⑺　パスポートの写し（顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分、外国人合格者のみ）
⑻　預金残高証明書及び預金通帳の写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの（外国人合格者のみ）

13. 学　　費

[一般受験]

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入 学 金	授 業 料	教育充実費	同窓会入会金	同窓会費	合　　計
1年	第１期（入学手続時）	200,000	436,000	50,000	5,000	10,000	701,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	200,000	872,000	100,000	5,000	10,000	1,187,000
2年	第１期（４月20日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000
3年	第１期（４月20日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。

＊　北海学園設置の北海商科大学・北海商科大学大学院又は北海学園大学・北海学園大学大学院修士課程修了後に博士（後期）課程へ入学するときは、入学金を免除するが、以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

[社会人特例受験]

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入 学 金	授 業 料	教育充実費	同窓会入会金	同窓会費	合　　計
1年	第１期（入学手続時）	100,000	218,000	30,000	5,000	10,000	363,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	100,000	436,000	50,000	5,000	10,000	601,000
2年	第１期（４月20日）	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000
3年	第１期（４月20日）	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。

＊　北海学園設置の北海商科大学・北海商科大学大学院又は北海学園大学・北海学園大学大学院修士課程修了後に博士（後期）課程へ入学するときは、入学金を免除するが、以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

授業科目等一覧

[博士後期課程]　　(2025年４月１日現在)

授　業　科　目　名		配当年次	単 位 数
１．グローバルビジネス研究科目			
	アメリカビジネス特殊研究	１前	２単位
	東アジアビジネス特殊研究	１後	２単位
２．コマース・ビジネス関連研究科目			
	マーケティング・流通システム特殊研究Ⅰ	１前	２単位
	マーケティング・流通システム特殊研究Ⅱ	１後	２単位
	交通・物流システム特殊研究Ⅰ	１前	２単位
	交通・物流システム特殊研究Ⅱ	１後	２単位
３．観光産業振興戦略関連研究科目			
	観光振興政策特殊研究Ⅰ	１前	２単位
	観光振興政策特殊研究Ⅱ	１後	２単位
	地域観光振興特殊研究Ⅰ	１前	２単位
	地域観光振興特殊研究Ⅱ	１後	２単位
４．研究関連特殊科目			
	研究関連特殊研究Ⅰ	１後	２単位
	研究関連特殊研究Ⅱ	１後	２単位
	研究関連特殊研究Ⅲ	１後	２単位
	研究関連特殊研究Ⅳ	２前	２単位
	東アジア経済論特殊研究	１後	２単位
５．研究指導科目			
	研究指導Ⅰ	１後	２単位
	研究指導Ⅱ	２前	２単位
	研究指導Ⅲ	２後	２単位
	研究指導Ⅳ	３前	２単位

［博士後期課程］
研究指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　指導担当者一覧

■コマース・ビジネス関連研究科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	橋　元　理　恵	企業の成長と衰退のプロセスに関する研究、マーケティング視点の観光・地域活性化に関する研究	マーケティング・流通システム特殊研究Ⅱ
教授	相　浦　宣　徳	地域物流に関する研究	交通・物流システム特殊研究Ⅱ

■観光産業振興戦略関連研究科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	佐　藤　博　樹	環境質に配慮した地域開発・観光まちづくりのあり方等について、主に応用経済学・環境経済論等の観点から検討する	観光振興政策特殊研究Ⅱ
教授	山　田　勅　之	中国少数民族地域の観光動態、文化遺産を用いた観光振興	地域観光振興特殊研究Ⅰ

■研究関連特殊科目担当者

職名	担当教員名	研究テーマ	授業科目
教授	池ノ上　真　一	地域の持続可能性のための地域マネジメントに関する研究。将来の都市・地域のあるべき姿を問う都市論や地域論。交流による地域形成の構造を解き明かす海の道研究等。	研究関連特殊研究Ⅲ
教授	伊　藤　昭　男	日本および中国における地域経済の自立に関する研究	研究関連特殊研究Ⅳ

※　研究テーマは、2025年４月現在の内容。
※　大学院要覧も併せて参照することが望ましい。

出 願 書 類

願書等提出書類一覧

○印の書類を一括で提出のこと
詳細については要項を参照すること

	修士課程		博士後期課程	
	一般	社会人特例	一般	社会人特例
入学願書	○	○	○	○
受験票	○	○	○	○
志望理由書	×	○	×	○
研究計画書	○	○	○	○
卒業証明書または卒業見込証明書	○	○		
修士論文の写しあるいはこれに代わる公表された論文			○	○
提出した論文の要旨（4000字以内）			○	○
修了証明書または修了見込証明書			○	○
最終出身学校の成績証明書	○	○	○	○
写真2枚（必要書類に添付のこと）	○	○	○	○
受験票送付用封筒（速達料を含む分の切手貼付）	○	○	○	○

個人情報の取扱いについて

本学では個人情報の取扱いについて、本人から提出いただいた出願時及び入学手続書類等については個人情報として処理し、厳重に管理します。具体的には、次の事項に留意して対応していきます。

（利用目的の特定）

個人情報は、合否判定、合格通知の発送およびご入学後の教育、修学及び進路指導、事務連絡、各種郵便物の発送等について、教職員が職務上必要な範囲において利用します。

（第三者への情報提供・制限）

予め本人の同意を得ずに、個人情報を「利用目的の特定」の範囲外において第三者に提供することはありません。ただし、本学関係諸機関（北海商科大学同窓会、北海学園生活協同組合）へは、本人の氏名、学部、学科、学年、学生番号、住所、郵便番号、電話番号等をそれぞれ提供し、ダイレクトメールによる案内に利用します。

（本人の同意）

利用目的外で学生の個人情報を扱う場合には、その都度本人の同意を得るようにいたします。

（個人情報の開示・訂正・利用停止等措置）

個人情報を開示することにより、本学の業務に著しい支障が生ずる恐れがある場合を除き、本人からの求めに応じて個人情報を開示するとともに、必要に応じて個人情報の訂正、削除等を行います。

（苦情処理対応）

本人から、自己に関する個人情報の苦情等の申出があった場合、適切かつ迅速に処理します。

取扱銀行の方へ

入学検定料の領収印は、右記の①から③の他に、別紙「2026（令和８）年度北海商科大学大学院入学願書」にもあります（④）。

お手数ですが、④の欄にも必ず押印してください。

志　願　者　へ

入学検定料を振り込む際は、別紙「2026（令和８）年度北海商科大学大学院入学願書」を必ず持参すること。

2026（令和８）年度
北海商科大学大学院商学研究科

『入学検定料』
領　収　書　A

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1277202
	北海商科大学
手数料	

振込み金額領収致しました。
（取扱銀行）　　銀行　支店

志願者氏名	

本書をもって入学検定料の領収とします。
北海商科大学大学院商学研究科

文書不可

取扱銀行出納印
1
（本人保管）

北海商科大学大学院商学研究科

電信扱い

2026（令和８）年度
北海商科大学大学院商学研究科

『入学検定料』
振込通知書　B

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1277202
	北海商科大学

上記のとおり振り込みましたのでご通知申し上げます。
（内訳）　　入学検定料　30,000円

フリガナ	
志願者氏名	

住所 〒　　－

☎（　　）　　－

文書不可

取扱銀行出納印
2
（取扱銀行→振込先銀行→北海商科大学）

北海商科大学大学院商学研究科

電信扱い

2026（令和８）年度
北海商科大学大学院商学研究科

『入学検定料』
振込依頼書　C

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1277202
	北海商科大学
手数料	

〈取扱銀行へお願い〉
＊出納印は、領収書A・振込通知書B・振込依頼書Cの３カ所の他に願書の検定料領収欄にも押印してください。

フリガナ	
志願者氏名	

住所 〒　　－

☎（　　）　　－

文書不可

取扱銀行出納印
3
（取扱銀行保管）

北海商科大学大学院商学研究科

取扱銀行へお願い

1．振込通知書は、取りまとめ銀行へ、必ず**文書扱い**で当日中に急送してください。

2．**組戻し請求には、絶対応じないようお願いします。**この場合は、大学へ申し出るようご指示ください。

3．取扱銀行出納印が４カ所ありますので、お手数ですが、押印洩れのないようお願いします。

・問い合わせ先
北海商科大学大学院
011-841-1161(代)8115

北海商科大学大学院

商学研究科　検定料受付期間

修士課程

第１期	**2026年１月15日㈭ ～１月30日㈮**

博士後期課程

第１期	**2026年１月15日㈭ ～１月30日㈮**

振り込みの注意

1．振込金額は、入学検定料30,000円です。
最寄りの銀行または信用金庫より振り込んでください。

2．出納印のない願書は検定料未納とみなし、受け付けませんので注意してください。

3．**振込手数料は、北洋銀行の本支店では無料ですが、他行では有料となるので窓口で確認してください。**

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　修士課程

入　学　願　書（一般・社会人特例用）

受験番号	※

受験区分	該当するものの（　）内に○印	（　　）一般受験　　（　　）社会人特例受験			写真貼付欄 4 cm × 3 cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近３ヵ月以内に撮影したもの
フリガナ 氏名		男・女	生年月日	年　月　日生 （満　　歳）	
現住所	〒　　－ TEL（　　）　　－				
合格通知先	〒　　－ TEL（　　）　　－				本籍地：都道府県を記入。外国籍者は国名を記入すること。
緊急連絡先	携帯電話 －　　－	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間			

	年　月	事　項
学歴	年　月	高等学校　卒業
	年　月	大学　学部　卒業 学科　卒業見込
	年　月	
	年　月	
職歴	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　　－ TEL（　　）　　－	
演習指導希望教授名	（第１希望）　教授	（第２希望）　教授
筆記試験で選択する外国語（注１）	英語・中国語・韓国語・日本語　いずれかに○を付け選択する。	
志望理由（注２）		

検定料領収印

取扱銀行出納印

（注１）一般受験者のみ母語以外の外国語を１つ選択すること。

（注２）社会人特例受験者は記入不要（別紙「志望理由書」に記入のこと）。

※欄は、記入しないこと

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　博士後期課程

入　学　願　書（一般・社会人特例用）

受験番号	※

受験区分	該当するものの（　）内に○印	（　　）一般受験　　（　　）社会人特例受験			写真貼付欄 4 cm × 3 cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近３ヵ月以内に撮影したもの
フリガナ 氏名		男・女	生年月日	年　月　日生 （満　　歳）	
現住所	〒　　－ TEL（　　）　　－				
通知先	〒　　－ TEL（　　）　　－				本籍地：都道府県を記入。外国籍者は国名を記入すること。
緊急連絡先	携帯電話 －　　－	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間			

	年　月	事　項
学歴	年　月	高等学校　卒業
	年　月	大学　学部　卒業 学科　卒業見込
	年　月	大学大学院　課程　修了 研究科　専攻　修了見込
	年　月	
職歴	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　　－ TEL（　　）　　－		
演習指導希望教授名	（第１希望）　教授	（第２希望）　教授	検定料領収印
筆記試験で選択する外国語（注１）	英語・中国語・韓国語・日本語　いずれかに○を付け選択する。		取扱銀行出納印 4
志望理由（注２）			

（注１）母語以外の外国語を１つ選択すること。
（注２）社会人特例受験者は記入不要（別紙「志望理由書」に記入のこと）。

※欄は、記入しないこと

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　修士課程

志　望　理　由　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	ビジネス専攻 修士課程（社会人特例受験者用）
氏名			

備考　※欄は、記入しないこと

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　博士後期課程

志　望　理　由　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	ビジネス専攻 博士後期課程（社会人特例受験者用）
氏名			

備考　※欄は、記入しないこと

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　修士課程

研　究　計　画　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	ビジネス専攻修士課程
氏　名			

卒業論文主題目（卒業論文のある者）

研究テーマ

研究計画

備考　(1)　記載により用紙に不足が生じる場合には、あらかじめコピーをした上で追加使用すること
　　(2)　※欄は、記入しないこと
　　(3)　研究テーマ及び研究計画は、出願前に指導希望教授と相談した内容に基づき記入すること

2026（令和８）年度　北海商科大学大学院　商学研究科　博士後期課程

研　究　計　画　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	ビジネス専攻博士後期課程
氏名			

出願書類(5)で提出した論文主題目（修士論文あるいはこれに代わる公表された論文のある者）

研究テーマ

研究計画

備考　(1)　記載により用紙に不足が生じる場合には、あらかじめコピーをした上で追加使用すること
　　(2)　※欄は、記入しないこと
　　(3)　研究テーマ及び研究計画は、出願前に指導希望教授と相談した内容に基づき記入すること

2026（令和８）年度　受験票［修士課程］

一　般	社会人	受験番号	※	写真貼付欄 4 cm× 3 cm 単身、正面、 上半身、脱帽 最近３ヵ月以内に 撮影したもの
フ　リ　ガ　ナ				
氏　　名				

受験科目等

試　験　日	2026年２月28日（土）		
	9：30〜11：00	11：10〜12：40	※　：　〜
一　般	筆記試験 外国語	筆記試験 専門科目	口述試験
社会人特例			

●試験当日は本票を必ず持参すること　●試験日にいずれか１つ✓印を記入すること　●**※欄は、記入しないこと**
●試験開始10分前には着席すること

北海商科大学大学院商学研究科

2026（令和８）年度　受験票［博士後期課程］

一　般	社会人	受験番号	※	写真貼付欄 4 cm× 3 cm 単身、正面、 上半身、脱帽 最近３ヵ月以内に 撮影したもの
フ　リ　ガ　ナ				
氏　　名				

受験科目等

試　験　日	2026年２月28日（土）		
	9：30〜11：00	11：10〜12：40	※　：　〜
一　般	筆記試験 外国語	筆記試験 専門科目	口述試験
社会人特例			

●試験当日は本票を必ず持参すること　●**※欄は、記入しないこと**　●試験開始10分前には着席すること

北海商科大学大学院商学研究科

受験上の注意

⑴　受験生は、「受験上の注意」が始まる10分前までに試験会場に入り、着席してください。
⑵　遅刻（交通機関遅延によるものを含む）した場合、試験開始20分以降の入場は認めません。
⑶　受験票は、必ず携行し、試験中は机上に置いてください。
⑷　外国籍の者は、出願書類（パスポート標記）に記載した氏名を用いてください。
⑸　試験教室には、時計を設置していないので、腕時計等を持参してください。ただし、辞書・計算・録音・通信等の機能を備えた時計の使用は禁止します。
⑹　携帯電話は電源を切り、荷物の中にしまってください（ポケット等に入れたままにしてはいけません）。また、携帯電話のアラーム機能は電源を切っても音が鳴ることがあるので、必ずアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。時計としての使用も認めません。
⑺　机上には、受験票、筆記用具、時計など、持ち込みを認められた物以外は置くことはできません。
⑻　試験時間内の途中退出はできません。
⑼　食事は必要に応じて各自でご用意ください。

受験上の注意

⑴　受験生は、「受験上の注意」が始まる10分前までに試験会場に入り、着席してください。
⑵　遅刻（交通機関遅延によるものを含む）した場合、試験開始20分以降の入場は認めません。
⑶　受験票は、必ず携行し、試験中は机上に置いてください。
⑷　外国籍の者は、出願書類（パスポート標記）に記載した氏名を用いてください。
⑸　試験教室には、時計を設置していないので、腕時計等を持参してください。ただし、辞書・計算・録音・通信等の機能を備えた時計の使用は禁止します。
⑹　携帯電話は電源を切り、荷物の中にしまってください（ポケット等に入れたままにしてはいけません）。また、携帯電話のアラーム機能は電源を切っても音が鳴ることがあるので、必ずアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。時計としての使用も認めません。
⑺　机上には、受験票、筆記用具、時計など、持ち込みを認められた物以外は置くことはできません。
⑻　試験時間内の途中退出はできません。
⑼　食事は必要に応じて各自でご用意ください。

北海商科大学大学院商学研究科

〒062-8607 札幌市豊平区豊平6条6丁目10番　TEL.(011)841-1161㈹
(地下鉄東豊線「学園前」駅 出入口4番直結、「さっぽろ」駅より6分)
URL　https://www.hokkai.ac.jp